

# 毎日小学生新聞

MAINICHI

発行所 毎日新聞社  
 東京本社(東京都千代田区一ツ橋1-1-1)  
 〒100-8051 電話(03)3212-0021  
 大阪本社(大阪府北区梅田3-4-5)  
 〒530-8251 電話(06)6345-1551  
 西日本本社(名古屋市北区藤が丘10-1)  
 〒462-8851 電話(053)541-3181  
 中野本社(名古屋市中央区名取4-7-1)  
 〒450-8851 電話(052)527-8000  
 北海道支社(札幌市中央区北西条西6-1)  
 〒060-8843 電話(011)221-4141  
 定価 1430円(税込)  
 (消費税別)

おもなメニュー



② 走れ! 毎小特派員

今年も残り1か月を切りました。昨年後半、いじめを苦にした小中学生の自殺が相次ぎ、「今年こそこんなことがないように」と、社会全体で願い、スタートした一年でもありました。一年の終わりに改めて「いのち」について考えてみませんか。みんなに支えられている「いのち」について、2人に聞きました。【崔聡子】

## 「カーくん」と森のなかまたち」 自作の絵本 読み聞かせ



「カラスのカーくんは、ほかの鳥たちに比べて『何もとりえがない』『空を飛び回ります。でも周りの鳥たちは美は、カーくんのいいところをたくさん知っていたのです』」

東京都多摩市の画家、夢ら丘実果さん(36)は、東京都内を中心に小学校の道徳の授業

## 夢ら丘実果さん(画家)

などで、絵本「カーくん」と森のなかまたち」の読み聞かせをしています。夢ら丘さんが原案を考え、絵も自分で描いた絵本です。

### 教え合ってほしい

「入って自分のいいところは気づかない。だから周りの人が少しでも相手のいいところを見つけたら、声に出して伝えてほしい。人間は照れ屋だから、大人でもなかなか言えない。でも言わないと何も伝わりません。スポーツや勉強ができる子はすごいと言われますが、心が優しいとか、お手伝いをよくするとか、困っている人を助ける、ということもとても価値のあることです」



アトリエでの夢ら丘さん

# いいところ 誰にでもある

夢ら丘さんが子どもたち一人一人に「いいところを見つけて、自分の存在を大切にしたい」と願い、読み聞かせをするまでには、さまざまなたねが育ちました。

3面に続きます

# 君を必要とする人がいる

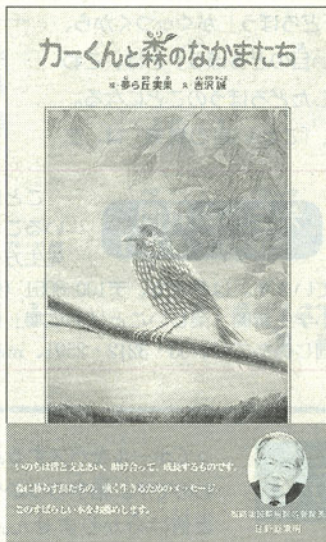
「1面から続く夢ら丘さん。好きな絵を描くことに打ち込めるようになっていきました。」

### 娘の一言に 励まされた

「ある夜中にぜんそくの発作が起きて、苦しんで『このまま死ぬんじゃないか』と、孤独感と不安でたまらなくなったことがあります。でも自分では苦しさのあまり気づかなかったのですが、家族が1晩中見守ってくれていたのです」

「1人ではないと気づいた夢ら丘さん。好きな絵を描くことに打ち込めるようになっていきました。」

大人になり、家族ができたある日、交通事故に遭いました。背中や腰を痛めて寝込み、家事ができなくなり、自分には価値がないと落ち込む日々が続いたといいます。その時、娘の「お母さんがいるだけで私はいらないんだ」という一言にとても励まされました。



「カーくん」と森のなかまたち」夢ら丘実果・絵  
 吉沢誠・文/ワイス・アウル/1575円

いのちは愛と思い、結び合って成長するものです。誰か頼るすべがある。誰か守るためのキラー。この子ばかりいふを大切にします。

監修 東京都教育委員会  
 絵 夢ら丘実果

◇夢ら丘実果さん 1970年  
 年から作品を制作。自分のぜんそくの経験を描いた絵本「ぜんそくさん」ありがとこ(愛育社)を昨年出版。今年9月に出版された「カーくん」と森のなかまたち」の読み聞かせをしている。ホームページは www.tama.or.jp/nika/ 1998年、東京都生まれ。

「自分ってだめだ、と思うことは、大人になってからもたくさんあります。でも娘の言葉を聞いて、自分も誰かに必要とされているということを感じました」と振り返ります。

自分を認めること、そして自分と違う他人のいいところを見つけて認めることは、自分の命、そして他人の命を大切にすることにつながります。

「一人一人の命はとてもかけがえないもの。なくなっていく命なんて一つもありません。夢ら丘さんは力を込めました。」

【崔聡子】